

## 支援プログラム

作成日：2026年3月1日

事業所名：Plus+days加美中新田校

法人理念	一人ひとりに「できる！」喜びを、「分かる！」楽しさを。			営業時間	9時～18時	
支援方針	子どもたち一人ひとりが本来持っている力や良さを引き出し、将来に生かせる力を身に着けられる場所を目指します。			送迎	あり	
特色	4E：English（英語）、Education（教育）、Event（イベント）、Exercise（運動）			活動形態	個別～集団	
領域	支援内容	児童発達支援				
本人支援	健康生活	①ライフスキルトレーニング	①衣服の着脱（自分で服を着る、ボタンをかける、靴を履く練習）、食事のマナー（食具の使い方、食事中のマナーを学ぶ）、トイレの使い方（トイレの手順、手洗い等衛生管理の基本を学ぶ）、あいさつ習慣、場面の切り替え練習			
	運動感覚	①微細粗大運動協調運動 ②ビジョントレーニング（視覚機能） ③感覚特性に応じた支援	①バランスボード、平均台渡り、トランポリン、ボール投げ、キャッチ、ケンケンパ、ジグザグ走、マット運動（前転・くま歩き・ワニ歩き）、サーフィン遊び（登る・くぐる・跳ぶなど） ②ペン先追視、跳躍運動（壁の左右にあるカードを交互に見る）、ビーズ通し、ストローひも通し、輪投げや玉入れ（距離感を使う遊び）、線なぞり、迷路、点つなぎ、ボールキャッチ（ゆっくり→速く） ③環境調整（イヤーマフ、照明、静かな部屋）、見通し支援（音が鳴る場面を前もって伝える、写真や絵カードで説明）、慣れる支援（苦手な音や感触に段階的に慣れる練習や遊び）			
	認知行動	①ワーキングメモリ ②数の学習	①復唱ゲーム、口頭指示ゲーム、伝言ゲーム（短い文→長い文）、しりとり、リズム模倣遊び、物の名前を順番に言って覚える、絵カードの順番記憶（2枚→3枚→4枚と段階的に）、積み木模倣 ②数に慣れ親しむ遊び、大きい小さいなどの概念遊び			
本人支援	言語コミュニケーション	①発音・発語 語彙への支援 ②言葉の学習	①②スタッフがゆっくり、はっきりと発音する。息を吹く遊び（吹きゴマ、シャボン玉）、具体物やカードを使って語彙を増やす、カテゴリー分類の力（概念学習）、知っている語を使って説明する力の向上、自発語の促進、二語文・三語文への発展			
	人間関係社会性	①愛着や安心感への支援 ②社会性スキルトレーニング	①特定の担当職員から人間関係を徐々に広げる、予測できる関わり方をする（声かけの仕方やルールを共通化し、日によって変わらない安心感を作る）、スキンシップや視線の合わせ方を工夫する（同じ目線にて話す、距離を保つなど） ②あいさつ（対人関係の入り口となる「あいさつ」を状況に合わせて使えるようにする）、順番を待つ（グループ活動でのルール理解や衝動性のコントロール）			
家族支援	日常相談や面談（対面・電話・アプリ）、定期面談					
移行支援 地域連携支援	関係機関との連携（自治体機関、医療機関、福祉機関、児童館、保育園、幼稚園、学校等）、進路相談					
全体に関わる支援	視覚支援・氷山モデル・応用行動分析（ABA）・感覚統合支援・ポジティブ行動支援（PBS）・認知行動療法					
研修	地域研修、校舎内研修、Plus+days研修、外部研修（児発管、保育士、強度行動障害）、標準プログラム					
主な行事等	保護者会、季節や学休日のイベント（花見、夏まつり、クリスマス会など）					